



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 28 (令和 8 年 2 月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧 1-1
電話: 072-780-2488
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

★小学校の「ロケット打ち上げ体験」に 5 歳児が参加

～架け橋期に大切にしたい経験の観点で活動を振り返る～

1 月 27 日、南小学校で(株)植松電機 代表取締役 植松努氏を講師に 6 年生の「ロケット制作・打ち上げ大会」が催され、近隣のわかばこども園・こばと保育所の 5 歳児が参加する機会がありました。そこでのさまざまな接続の姿を『伊丹市 架け橋期のカリキュラム(5 歳児版)』の「架け橋期に大切にしたい経験」から振り返ります。

① ロケット制作についての話



好奇心や探究心をもつ
🌱 ロケット作ってみたい!!ワクワク
やってみたい気持ちでいっぱい!!



友達の話すことに関心をもって聞く
🌱 体育館壇上の植松社長の話を、多くの年長児がしっかり聞いていました。(👂の姿、見てください)「聞きたくなる」興味を大切に「聞く」機会を作ることが大切です。

② パラシュート(6 年生のロケットにつける)に絵を描く



やってみたいことに取り組み
充実感や満足感を味わう

異年齢の友達に優しさや
思いやりをもって積極的に関わる
🌱 この日は、6 年生の優しさや思いやりあふれるかかわりが随所にみられ、うれしい経験になりました。

③ ロケット打ち上げ 180 台ものロケットが校庭から発射!大歓声でした



身近な人と親しみ、感謝や
思いやりの気持ちをもつ

🌱 一緒に作った 6 年生と打ち解けて、しゃべったり抱っこしてもらったり。お兄さんお姉さんに「好き」「ありがとう」という気持ちをもつ経験になりました。



就学に期待をもち、大きくな
ったことを喜ぶ

2 時間半にわたる活動でしたが、とても優しい 6 年生とのかかわりや、「やってみたい」気持ちと、ロケットが飛んだ感動や満足感で、90 名ほどの 5 歳児は最後まで楽しく参加していました。
このような交流活動の機会は、子どもにとっては「楽しかった!」が一番ですが、私たち保育者は一歩先を見据えて接続の観点で「この子はこんな経験ができたな」「こんな力につながるな」ということを振り返り、前後の保育や子どもへのかかわりに返していくことが大切です。また、それらを小学校と共有することも意識したいことですね。
(幼児教育センター長 岡本)